

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2005-315027 (P2005-315027A)
 【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-044
 【出願番号】特願 2004-136553 (P2004-136553)
 【国際特許分類】

E 0 2 F 9/12 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 9/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 21 日 (2007.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作業装置 (7) を備えた旋回体 (2) を、走行装置 (3) 上に上下方向の旋回軸心 (X) 回りに回動自在に備え、走行装置 (3) の走行フレーム (27) の旋回軸心 X 上に、ロータリジョイント (117) が取り付けられた旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造において、

走行フレーム (27) の底板 (40) に支持ステー (129) が上方突設され、ロータリジョイント (117) の上下方向中央部が、前記支持ステー (129) を介して走行フレーム (27) の底板 (40) に取り付けられていることを特徴とする旋回作業機におけるロータリジョイント (117) の取付構造。

【請求項 2】

前記支持ステー (129) は、ロータリジョイント (117) の前後に一对設けられ、各支持ステー (129) へのロータリジョイント (117) の取付部 (135) は、互いに上下にずらされていることを特徴とする請求項 1 に記載の旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造。

【請求項 3】

前記ロータリジョイント (117) に、側面視 L 字状の取付部材 (132) が設けられ、この L 字状の取付部材 (132) の一片が、ロータリジョイント (117) 側に固定され、取付部材 (132) の他片が、前記支持ステー (129) のロータリジョイント取付部 (131) に、載置して固定されていることを特徴とする 請求項 1 又は 2 に記載の旋回作業機におけるロータリジョイントの取付構造。